

都市再生整備計画 事後評価シート  
吉富駅前周辺地区

平成26年3月

福岡県吉富町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名	吉富町		地区名	吉富駅前周辺地区			面積	15ha				
交付期間	平成21年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	282.3百万円	国費率	0.383						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		道路:町道吉富駅前線、地域生活基盤施設:駅前ポケットパーク、駅前駐車場、駅前駐輪場、情報板、既存建造物活用事業:地域交流センター、観光交流センター										
			提案事業		まちづくり活動推進事業:景観づくり・ポケットパークづくり										
	当初計画から削除した事業		基幹事業		高質空間形成施設:カラー舗装・街灯		削除/追加の理由		景観づくり検討会で舗装及び街灯を道路事業と一体的に整備することとなったため。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		影響なし	
			提案事業		なし		-		-		-		-		
	新たに追加した事業		基幹事業		なし		-		-		-		-		
			提案事業		なし		-		-		-		-		
交付期間の変更		当初	平成21年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							-			
		変更	なし												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ			
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)		予定時期			
	指標1	駅利用に関する満足度	%	16	H20	30	H24	90	○	あり	両側歩道やポケットパーク・シェルター等の整備が「歩きやすく、快適な駅前周辺の整備」としてアンケート結果からも従前値の5倍以上の満足度を得られ指標の達成につながった。		-		
	指標2	床下浸水戸数	戸	5	H20	0	H24	0	○	あり	平成25年7月4日の台風4号時に時間最大雨量31mm/hが発生したが、土壌積を行わず、対象エリアには浸水被害が発生しなかったことから、指標の達成につながった。		-		
指標3	ポケットパーク(円形花壇)ボランティア人数	人/年	0	H20	180	H24	219	○	あり	平成24年度は町内10地区の方で構成された「よしとみレディースお花づくり部」会員37名で活動に当たり、先進地視察研修や3班構成による作業を実施した結果、町の玄関口としてふさわしい花壇形成を行うことができ、指標の達成につながった。		-			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況		その他の数値指標1	なし	-			-								
		その他の数値指標2	なし	-			-								
		その他の数値指標3	なし	-			-								
4)定性的な効果発現状況		-													
5)実施過程の評価		実施内容		実施状況				今後の対応方針等							
モニタリング		なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた				-							
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				○							
				実施しなかった				-							
住民参加プロセス		①すべての人が安心して快適に利用できる「まちの拠点」づくりと②まちの玄関口として、シンボリックで吉富らしい景観づくりを検討し、その意見を都市再生整備計画と設計に反映した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた				○							
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-							
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-							
持続的なまちづくり体制の構築		なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた				-							
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				○							
				実施しなかった				-							

## 様式2-2 地区の概要

### 吉富駅前周辺地区(福岡県吉富町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
吉富町の玄関口として快適で魅力のある駅を中心としたまちづくりを推進する。その為に、1)歩きやすく快適な駅周辺の整備をすすめる。2)災害に強い地域づくりをする。3)イベントや趣味、ボランティア活動等の交流により住民がイキイキと暮らせるまちづくりを目指す。	駅利用に関する満足度	単位: %	16 H20	30 H24	90 H25
	床下浸水戸数	単位: 戸	5 H20	0 H24	0 H25
	ポケットパーク(円形花壇)ボランティア人数	単位: 人/年	0 H20	180 H24	219 H24



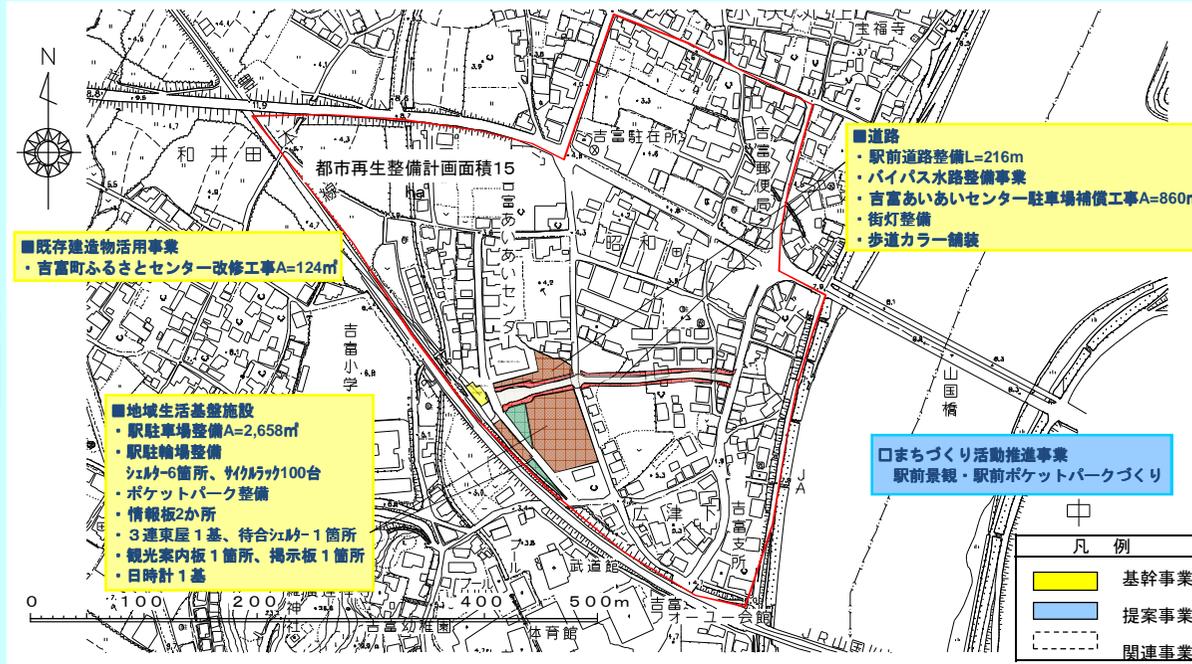
町道 吉富駅前線



吉富町ふるさとセンター



円形花壇



日時計・東屋・駐輪場



観光案内板



駐車場

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題1: 歩行者の安全性及び景観を考慮した駅へのアクセスの改善→県道から町道吉富駅前線の新設により、駅へのアクセスが改善されたことと、両側歩道やポケットパークやシェルター等の整備により、歩きやすく快適な駅前周辺の整備を行った。</li> <li>課題2: 浸水被害の解消→平成25年7月4日の台風4号時に時間最大雨量31mm/hが発生したが土嚢積を行わず、対象エリアに浸水被害を防止でき、災害に強いまちづくりへ寄与できた。</li> <li>課題3: 自主活動組織の活性化を図った地域コミュニティの活性化→よしとみレディースお花づくり部会員37名が年間で総勢219名花壇の整備にあたり、町の玄関口としてふさわしい花壇形成を行った。またリニューアルされたよしとみふるさとセンターの利用団体数も計画策定時の1団体から5団体に利用団体数が増加し、地域コミュニティの活性化に寄与した。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩きやすく快適な駅前周辺を持続させる為、ポケットパークや花壇にイルミネーション等を実施したり、軽トラ市を開催する等、駅前のにぎわいの創出を図る。また同時に夜間、器物破損等の犯罪が発生していることから、照明の追加や防犯カメラの設置等により防犯対策の強化を図る。</li> <li>浸水被害防止の継続を図る為、バイパス水路の適切な維持管理を行う。具体的に用水については土地改良区と連携をとり、排水については水路や自動転倒式ダンパーの適切な管理を行う。</li> <li>地域コミュニティ活性化の持続を図る為、駅前でイベントを開催し、ふるさとセンターの利用率の向上を図るとともに、花壇の先進地視察を行い手入れされた花壇をPRする。</li> </ul>

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		○			
B. 目標を定量化する指標		○			
C. 目標値		○			
D. その他( )		○			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	町道吉富駅前線	143	L=210m	195	L=210m	CBR試験による舗装構造の変更と道路照明を高質空間から道路に変更による増	影響なし	○	
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	駅前ポケットパーク	2	450m <sup>2</sup>	4	1100m <sup>2</sup>	景観づくり検討会で憩えるポケットパーク整備としてベンチやシェルター等の追加による増	影響なし	○	
地域生活基盤施設	駅前駐車場	10	2800m <sup>2</sup>	9	2500m <sup>2</sup>	道路線形の変更による駐車場面積の減による事業費の減	影響なし	○	
地域生活基盤施設	駅前駐輪場	1	55m, 110台	23	580m <sup>2</sup> , 115台	当初の移設予定から駐輪シェルターやラック式に変更した事業の増による	影響なし	○	
地域生活基盤施設	情報板	0	—	2	2箇所	景観づくり検討会で地域資源のPR等で追加要望があった為	影響なし	○	
高質空間形成施設	カラー舗装・街灯	35	200m <sup>2</sup>	0	—	景観づくり検討会で舗装及び街灯を特別高価なものでなく、景観に配慮した通常のものが選択された為	—	—	—
高次都市施設									
既存建造物活用事業	地域交流センター・観光交流センター	7	124m <sup>2</sup>	5	124m <sup>2</sup>	設計段階では費用区分が不明確であった為、設計費を削除し単独分とした減	影響なし	○	
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと



添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無		
			基準 年度		基準 年度		目標 年度						あり	なし		
指標1	駅利用に関する 満足度	%	評価値は従前値と同様に平成25年12月20日に吉富駅前周辺施設利用者に対して、アンケート調査を行った。アンケートの質問項目は11項目で、次の3つの満足度を調査した。1. 駅へのアクセスや周辺の施設に対する満足度(設問7)、2. 駅周辺の歩きやすさ、安全性(歩道や街路灯)に対する満足度(設問8)、3. 駅周辺の景観(町並みや緑地)の美しさについての満足度(設問9)なお指標1の「歩きやすく、快適な駅周辺の整備」を計測する為に、設問7、設問8、設問9を設け、その平均値を指標1の計測結果とした。またアンケート実施の時間帯は6:30~9:00、13:00~14:00、17:00~18:00であった。アンケート調査数は156票であった。	-	-	16	H20	30	H24	モニタリング		モニタリング				
										事後評価	確定 ○	見込み	90	事後評価	○	
指標2	床下浸水戸数	戸	「従前値」の計測方法と同様の手法により、対象地区内において、30mm以上の時間雨量が発生した時に、土嚢積を行わなかった場合に発生したであろうと思われる床下浸水戸数を、パトロールによる目視の確認や周辺住民からの聞き込み調査により、集計した。	-	-	5	H20	0	H24	モニタリング		モニタリング				
										事後評価	確定 ○	見込み	0	事後評価	○	
指標3	ポケットパーク (円形花壇)ボラン ティア人数	人/年	吉富駅前のロータリー内花壇は町の顔となる花壇であることから、駅前の花壇を管理運営できるだけの組織力や、技術、熱意をもった団体として「よしみレディース(吉富町の婦人部)」に依頼した。また管理運営にあたり必要な消耗品等の購入代金として年間20万円を助成している。評価値としては平成24年度に本町に提出された「活動参加者名簿及び作業記録」の花壇のボランティア活動に参加した人数の累計値により求めた。	-	-	0	H20	180	H24	モニタリング		モニタリング				
										事後評価	確定 ○	見込み	219	事後評価	○	

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	両側歩道やポケットパークやシェルター等が「歩きやすく、快適な駅前周辺のまちづくり」としてアンケート結果からも従前値の5倍以上の満足度を得られる評価につながったと思われる。	駅前整備後に、夜間人が集い器物破損等の犯罪が発生していることから、防犯対策として照明の追加や防犯カメラの設置を行い、安全性の確保を行った。
指標2	平成25年度は、7月4日の台風4号の31mm/hが一度発生し、その時は土嚢積を行わず、対象エリアには浸水被害は発生しなかった。	今後浸水被害に備え、引き続き警戒を行う。
指標3	平成24年度は、よしみレディースお花づくり部会員37名・町内10地区の方が活動され、先進地に研修に行かれるなど、町の玄関口としてふさわしい形成をされています。	今後もお花づくり部会の組織力や技術、熱意をもった団体として活動が継続されることが期待される。

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度			
その他の 数値指標1							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標2							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標3							モニタリング		
							事後評価		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
—	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
—	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
吉富駅前周辺地区景観づくり検討会の開催(町内在住で吉富駅周辺のまちづくりに興味のある方を対象に広報及びチラシで参加者を募集した結果、自治会長、よしみレディース「童謡クラブ、花づくり部」等30名の委員が検討会に参加した)	予定どおり実施した	○ 【実施時期・回数】平成21年12月～平成22年3月で計3回開催 【実施効果】①すべての人が安心して快適に利用できる「まちの拠点」づくりと②まちの玄関口として、シンボリックで吉富らしい景観づくりを検討し、その意見を都市再生整備計画と設計に反映した。	—
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
—	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
—	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
—	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
吉富町社会資本総合整備計画検討会	・産業建設課 ・企画財政課	平成26年1月28日	産業建設課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標1		指標2		指標3			
指標名		駅利用に関する満足度		床下浸水戸数		ポケットパーク(円形花壇)ボランティア人数			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路:町道吉富駅前線	◎	両側歩道やポケットパーク・シェルター等の整備が「歩きやすく、快適な駅前周辺の整備」としてアンケート結果からも従前値の5倍以上の満足度を得られ指標の達成につながった。	◎	平成25年7月4日の台風4号時に時間最大雨量31mm/hが発生したが、土嚢積を行わず、対象エリアには浸水被害が発生しなかったことから、指標の達成につながった。	◎	平成24年度は町内10地区の方で構成された「よしみレディースお花づくり部」会員37名で活動に当たり、先進地視察研修や3班構成による作業を実施した結果、町の玄関口としてふさわしい花壇形成を行うことができ、指標の達成につながった。		
	地域生活基盤施設:駅前ポケットパーク	◎							
	地域生活基盤施設:駅前駐車場	○							
	地域生活基盤施設:駅前駐輪場	○							
	地域生活基盤施設:情報板	○							
	既存建造物活用事業:地域交流センター・観光交流センター	○							
提案事業									
関連事業									

※指標改善への貢献度

◎:事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。

○:事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。

△:事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。

一:事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	商工会と協力し駐輪場前の空きスペース等を有効活用し、朝市や軽トラ市などを催す。同時に商業施設の誘致等駅前の活性化を図る。	バイパス水路は用水と排水の2面性を有する為、土地改良区と連携しながら、ダンパー等の日頃の管理委託も行うことで、今後も災害に備える。	よしみレディースとより良い花壇形成について協議し、その成果を町内外に発信することでコミュニティの維持拡大を図っていく。
-------	--	---	---

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○			指標○			指標○			指標○		
指標名													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類									
基幹事業													
提案事業													
関連事業													

※目標未達成への影響度

- ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ー：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)			
------------------	--	--	--

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
吉富町社会資本総合整備計画検討会	・産業建設課 ・企画財政課	平成26年1月28日	産業建設課

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
歩行者の安全性及び景観を 考慮した駅へのアクセスの改 善	県道から町道吉富駅前線の新設により、駅へのアクセ スが改善されたことと、両側歩道やポケットパークや シェルター等の整備により、歩きやすく快適な駅前周辺 の整備(a)を行えた。	なし	なし
浸水被害の解消	平成25年7月4日の台風4号時に時間最大雨量 31mm/hが発生したが土嚢積を行わず、対象エリアに浸 水被害を防止(b)でき、災害に強いまちづくりへ寄与でき た。	なし	
自主活動組織の活性化を図っ た地域コミュニティの活性化	よしみレディースお花づくり部会員37名が年間で総 勢219名花壇の整備にあたり、町の玄関口としてふさ わしい花壇形成を行った。またリニューアルされたよし とみふるさとセンターの利用団体数も計画策定時の1 団体から5団体に利用団体数が増加し、地域コミュニ ティの活性化(c)に寄与した。	なし	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方  
策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を  
添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	歩きやすく快適な駅前周辺の整備	夜間人が集い器物破損等の犯罪が発生していることから、照明の追加や防犯カメラの設置等により防犯対策の充実を図る。ポケットパークや花壇にイルミネーション等を実施し駅前のにぎわいの創出を図る。	・防犯対策の強化、・特産品の販売 ・駅前にぎわい創出事業、・駅舎の美化を図る ・朝市や軽トラ市の開催 ・駅を東西に横断するバリアフリー自由通路の設置
	浸水被害の防止	バイパス水路は2面性を要することから、用水については土地改良区と連携をとり、排水については水路や自動転倒式ダンパーの適切な管理を行い水害に備える。	・適切な維持管理
	地域コミュニティの活性化	駅前で開催イベントを開催し、ふるさとセンターの利用率の向上を図るとともに、花壇の先進地視察を行いすみずみまで手入れされた花壇をPRする。	・イベントの開催 ・花壇の先進地視察 ・花壇管理用時計の設置

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	なし		
	なし		
	なし		

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

- ・町道駅前線に接道する県道吉富港線に渋滞が発生している為、吉富駅の活性化を図るには、本地区を含めた町内全体での道路計画を見直し、順次整備を行うべきである。
- ・有料化に伴い吉富駅前駐車場以外の駐車場及び空地での違法駐車対策を行う必要がある。

**添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画**

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画				
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項		
指標1	駅利用に関する満足度	%	16	H20	30	H24	確定 見込み	○	90	○	あり なし	→	-	-	-
指標2	床下浸水戸数	戸	5	H20	0	H24	確定 見込み	○	0	○	あり なし	→	-	-	-
指標3	ポケットパーク(円形花壇)ボランティア人数	人/年	0	H20	180	H24	確定 見込み	○	219	○	あり なし	→	-	-	-
指標4				H		H	確定 見込み				あり なし	→			
指標5				H		H	確定 見込み				あり なし	→			
その他の数値指標1	-			H			確定 見込み					→	-		
その他の数値指標2	-			H			確定 見込み					→	-		
その他の数値指標3	-			H			確定 見込み					→	-		



**添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方**

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	特になし	-
	うまく いかなかった点	特になし	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	特になし	-
	うまく いかなかった点	特になし	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	景観づくり検討会の開催により、安心して快適に利用できる「まちの拠点づくり」とまちの玄関口としてシンボリックで吉富らしい景観づくりを行えた。	今後も道路及び施設計画やまちづくりに住民意見を取り入れ、住民に親しまれる公共施設の整備に努める。
	うまく いかなかった点	特になし	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	特になし	-
	うまく いかなかった点	特になし	
その他	うまくいった点	特になし	-
	うまく いかなかった点	特になし	

**添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)**

なし

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	町のホームページに掲載	平成26年1月30日～2月7日	平成26年1月30日～2月7日	担当課への郵便、電話、電子メール、FAX等	産業建設課
広報掲載・回覧・個別配布	町内回覧(町ホームページ及び、産業建設課で供覧している旨を掲載)	平成26年1月31日(金)	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	産業建設課窓口において供覧	平成26年1月30日～2月7日	平成26年1月30日～2月7日		

住民の意見	・特になし				
-------	-------	--	--	--	--

## (6) 評価委員会の審議

### 添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	仲隆喜氏(以下の職を歴任) 特定非営利活動法人北九州テクノサポート副会長、福岡県立戸畑高等技術専門学校講師、第4次吉富町総合計画審議会副会長	平成26年3月4日	産業建設課	吉富町社会資本整備総合交付金事後評価委員会設置要綱	-
その他の委員	油布恒文吉富町商工会事務局長 宮田隆広津下区自治会長、矢頭秀登志和井田区自治会長 守口澄良小犬丸上区自治会長、藤本満昭和区自治会長 笈木峰子よしみレディース花づくり部代表				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	・成果の評価は妥当であると確認された。
	実施過程の評価	・実施課程の評価は妥当であると確認された。
	効果発現要因の整理	・効果発現要因の整理は妥当であると確認された。
	事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案が住民に対して適性に公表されたことが確認された。
	その他	・意見なし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・快適な駅前周辺の整備を行う事業として駅前のにぎわい創出事業を掲げていたところ、特産品販売ブースを設置してはどうかと意見があった。また更なる駅前の美化に努めて欲しいことや、バリアフリー自由通路を設置してはどうかと意見があった。
	フォローアップ	・特になし
	その他	・意見なし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	・町道駅前線に接道する県道吉富港線に渋滞が発生している為、吉富駅の活性化を図るには、本地区を含めた町内全体での道路計画を見直し、順次整備を行うべきである。その他、有料化に伴い吉富駅前駐車場以外の駐車場及び空地での違法駐車対策を行う必要があると意見が提出された。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。